

35. 自然文化を楽しく学ぶ科 (2024年度)

(木曜日 授業予定表) 講師:菅井啓之、沖和行、清水孝之、植松千代美、斉藤明子

				午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講 師 数	テ ー マ	内 容	講 師 名	テ ー マ	内 容
1	8	月	①		①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)				
2	4	18	木	1	自然文化を味わうための自然の見方	総合的な自然の見方から生み出された自然文化	菅井啓之①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	
3		25	木	2	植物のちから(1)	植物と人とのつながり	沖 和行①	高大オリエンテーション	班内役割決定 遠足係打合
4	9	木	3	★奈良春日山原始林	世界文化遺産である太古の森の姿を味わう		菅井啓之②	自主活動	班での遠足場所検討
5	5	16	木	4	身近な植物 春-初夏編 と 大阪城公園ミニ観察		清水孝之①	〃	委員長・各係長決定
6		30	木	5	★植物のちから(2)	神戸市立森林植物園	沖 和行②	〃	班での遠足場所検討
7/8	6	木	6/②	社寺林の意義を考える	神社仏閣の裏山にこそ日本文化の原点がある		菅井啓之③	②社会への参加活動(体験発表)	遠足場所決定
9	6	13	木	7	植物の不思議	東北地方に自生する野生梨の多様性について	植松千代美①	自主活動	遠足案内配布 班活動(テーマ検討)
10		20	木	8	★箕面国定公園	原生的なシイ林が広がる光景こそ日本の原風景	菅井啓之④	〃	班活動(テーマ検討)
11		27	木	③	③遠 足				
12	4	木	9		樹木の生き残り戦略		清水孝之②	自主活動	班活動(テーマ決定)
13	7	11	木	10	日本の美意識(わび・さび・幽玄)	日本美に底流している精神性と自然との深い関わり	菅井啓之⑤	〃	班活動
14		18	木	11	植物散歩と標本づくり	周辺の植物解説と葉脈標本づくり	斉藤明子①	〃	班活動
夏 休 み									
15	9	19	木	12	身近な植物 秋編 と	大阪城公園ミニ観察	清水孝之③	自主活動	健康まつり説明
16		26	木	13	★植物のちから(3)	京都府立植物園	沖 和行③	〃	
17	10	10	木	14	巨樹・古木の意義を考え樹木を楽しむ	樹木は日本の森林文化の根底にあるもの	菅井啓之⑥	〃	コーダイフェスタ内容説明
18		16	水	④	④コーダイ健康まつり (服部緑地陸上競技場)				
19	10	24	木	15	★京都御苑の樹木に親しむ	多くの古木に出会い、樹木を味わうには最高の場所	菅井啓之⑦	自主活動	
20		31	木	16	植物のちから(4)	植物の生きるための理由	沖 和行④	〃	コーダイフェスタ準備
21	11	7	木	17	★自然観察	山田池公園	清水孝之④	〃	
22		21	木	18	日本庭園・盆栽・水石の心	自然風景の味わいを縮図にして日常化した文化に触れる	菅井啓之⑧	〃	コーダイフェスタ準備
23		28	木	⑤	⑤コーダイフェスタ (豊中市立文化芸術センター)				
24	12	5	木	19	★万博公園内の日本庭園	世界に向けて日本の庭園の美意識と技術を展開したもの	菅井啓之⑨	自主活動	
25		12	木	⑥	⑥社会への参加活動				
26		19	木	20	チョウと植物の関わり		清水孝之⑤	〃	
冬 休 み									
27	1	9	木	21	★都市・森・人をつなぐ森の植物園の魅力と役割	大阪公立大学附属植物園での講義と自由散策	植松千代美②	自主活動	
28		16	木	22	自主企画講座				
29		23	木	23	★自然観察における自然文化(服部緑地)	都市公園でどのように自然文化を味わうか	菅井啓之⑩	〃	成果発表会準備
30	2	6	木	24	植物のちから(5)		沖 和行⑤	〃	成果発表会準備
31		13	木	25	日本の自然観の意義を考える	自然文化の根底には日本の伝統的な自然観が流れている	菅井啓之⑪	〃	成果発表会準備
32		20	木	26	学習成果発表会				
33			木	⑦	⑦修了式				
34	3	6	木	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)				
35		7	金	⑨					
授 業(自主企画、成果発表会含む)							26		
学 習 事 業 (① ~ ⑨)							9		2024.03.20改訂
合 計							35		

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。